

カブ通信

～組の力がためされる時～



No.2 平成23年10月28日発行

川崎第46団カブスカウト隊

発行責任者：津嶋隊長、執筆：若島副長

川崎市内の仲間が集いて

9月25日、今日は地区ラリー。川崎中のカブ隊・ビーバー隊が等々力緑地に集いました。プログラムは、川崎地区のローバー隊のお兄さんお姉さん達が企画してくれたもので46団RSのお兄さんもゲームの計画から展開と尽力を注いでくれました。ラリーは、等々力緑地をスタート。いくつかのポイントを回り、ゲームを競いながら中原平和公園(ゴール)を目指します。



まずは、水運びリレーだ！水を運ぶ道具は、おたま・おわん・穴の開いたペットボトルの3種類。道具は全て使わなくてはなりません。順番、だれがどの道具を使うのか組で話し合いました。



次のゲームは、水の入った紙コップを次のスカウトのコップに水を移し、ゴールラインを目指すりレーです。

「溢さないように！」、「減点されちゃうぞ！」、「速く速く！」と大きな声を出し合っていました。はたしてタイムは！？

最後は、爆弾運びゲームだ。ペットボトル爆弾にロープを引っ掛けて落とさず安全地帯に運ぶのだ！チームワークが試されるぞ。一人でも気を抜いたら(ロープをゆるめたら)「ドカンッ！」だ。



新しい組を結成してからまだ3週間。心配無用！1組も2組も見事なチームワークを見せてくれました。

くまスカウトの力

くまスカウトは、「くま訓練」と題して隊集会の30分

前に集合し、カブ隊最上級生として技能向上を目指します。10月9日は、初めての「くま訓練」の日です。デンコーチの指導の下、手旗の原画を練習しました。



くま訓練で経験を積み、うさぎ・しかスカウトを引っ張り、組をまとめてくれる日も近そうです(期待！)。

はじめてのハイキング

今年のカブ隊のテーマは、「多摩川探検！」です。雨(降水確率70%)が心配でしたが、みんなの祈りも通じ10月23日に、探検第一弾として多摩川の河口をハイキングしました。8日に隊長と下見に行き、ハイキングコースを決定。コースは、JR川崎→稲毛公園(旧六郷橋親柱が移設されている)→六郷の渡し碑(新六郷橋)→川崎河港水門→干潟館(昼食)→台町バス停→東扇島東公園です。多摩川探検図鑑を片手にいざ出発！



◆多摩川探検図鑑◆

多摩川探検図鑑は、リーダーが配布した共通資料(河原の石色々・川の塗り絵シート・多摩川クイズ等々)の他、自分で調べることでも図鑑を厚く、増やすことができます。年度末にそれぞれのオリジナル図鑑が完成するのを楽しみにしています。

六郷の渡し碑からは、川沿いを歩きます。川崎河港水門(昭和3年に完成)に着き国の有形文化財をスケッチ。



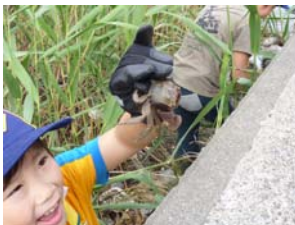
優秀賞にはペーパークラフトがプレゼントされるとあってみんないつもより真剣です。干潟館に着き昼食タイム。

昼食後、①干潟館内の多摩川汽水域の生物観察、②干潟でカニ掴み取りのどちらかやりたい方をスカウト達に選ばせ、2チームに分かれての活動です。その前にスケッチ優秀賞の発表です。



みんなとても上手にスケッチを描いたので優秀賞を決めるのにとても悩みました。リーダー、デンリーダー、父母による厳正な審査の結果、優秀賞は2組のくまスカウト。おめでとう！立体感のある独創的な絵でしたよ。

さあチームに分かれて活動です。カニの掴み取りチームの様子を覗いてみましょう。



生き物観察を終え、バスで東扇島東公園に向かいます。公園内の海浜で、自分の気に入った貝殻を拾ってMyキーホルダー作りです。



海には沢山の種類の貝殻が、打ち寄せられています。拾った貝殻をコンクリートに擦り続けると貝に穴が開きます。穴にリングを通しストラップの紐を付ければ、Myキーホルダーの完成です。



23年度初めてのハイキング、リーダー4名、デンリーダー4名、デンコーチ2名、スカウト13名、見学参加してくれた仲井君、父母妹10名の計34名での活動でした。デンコーチの2人、BS秋キャンプのキャンプ場を朝6:00に出発し合流・参加してくれて有難う！

11月の活動も基礎訓練・46フォーラム・隊集会（工作：乗り物作り）と盛りだくさん。寒くなるけど風邪をひかないように元気な姿を見せてください。

